

小学生プログラミング県大会 松本さん兄妹(養)が栄冠



グランプリに輝いた松本陽希君、望来さんきょうだいのプレゼンテーション＝7日午後、県総合文化センター

農業ロボの操作発表

プログラミング技術を駆使して制作した作品を競う「TKCとちぎプログラミング

トルで、イチゴの収穫ロボットを動かすプログラミング作品を披露した。

大会はプログラミング技術で課題を解決する発想力や、解決策を論理的に発表

ングアワード 全国選抜小学生プログラミング大会県大会2022」(下野新聞社など主催)の最終審査会が7日、宇都宮市の県総合文化センターで開かれた。グランプリTKC賞には、芳賀町芳賀北小5年松本陽希君(11)、同2年望来さん(8)きょうだいの「チームみらいファーム」が輝いた。2人は「ロボットで農業を守ろう!」というタイ

する能力を競うのが目的。3回目の今回のテーマは「みんなのみらい」で、計165点の応募があった。書類審査を通過した10組が最終審査に臨み、学識経験者らを前に自作プログラムをプレゼンテーションした。審査員特別賞のフューチャー賞は、那須塩原市黒磯小1年大塚陽葵さん(7)が獲得。「ぶつからないミライ」と題し、ランドセルに取り付けたタブレット端末が車の接近を知らせるプログラムを開発した。グランプリのチームみらいファームは、3月に都内で開かれる全国大会に出場する。2人は表彰式で「うれしくて涙が出そう。全国でも頑張りたい」と話した。(須藤健人)